

安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

警告

- 煙が出ている、発熱している、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちにUSBケーブルを外し、最寄りのパーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。
- 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本体が破損した場合は、最寄りのパーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。
- 万一、表示画面が破損して中の液晶（液体）が漏れた場合は、絶対に触れないでください。万一、口に入った場合はすぐにうがいをし医師と相談してください。また、もし液晶が手や衣服などに付着した場合は、直ちに石鹸で洗い流してください。

- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
- USBケーブルは、使い方を誤ると火災や感電の原因になります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 束ねたり、結んだりしない。
 - ・ 濡れた手でUSBケーブルを抜き差ししない。
 - ・ プラグはコネクタの奥まで確実に差し込む。

- USBケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重い物を載せたり、引っばったり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 分解しない。
 - ・ 加熱しない、火の中に投入しない。
 - ・ 充電しない。本機に使用しているリチウム電池を取り外した場合は、子供がリチウム電池を誤って飲むことがないようにしてください。また、電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一、子供が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師と相談してください。

注意

- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 本機の上には重い物を載せないでください。
- 本機の内部に、水や液体、異物（金属片）が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、最寄りのパーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。
- プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。USBケーブルを引っばると、芯線の露出、断線など、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 指定以外の電池は使用しない。
 - ・ 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れる。
 - ・ 長時間使用しない時は、本機から電池を取り外しておく。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お願いとご注意

- ・ 計算機をふくときは乾いた柔らかい布をお使いください。絶対にシンナーやベンジン、ぬれ雑巾等はお使いにならないでください。
- ・ 液晶表示部はガラスでできていますので強く押さえないでください。
- ・ 低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が機分遅くなる場合がありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

仕様

型式：キヤノン「LS-100TKM」
表示：液晶表示10桁
演算桁数：置数、被演算数/演算数:10桁結果;上位桁優先10桁
使用温度範囲：0℃~40℃
外形寸法：開いた状態
186mm(奥行)X65mm(幅)X65mm(高さ)
閉じた状態
104mm(奥行)X38mm(幅)X38mm(高さ)
USBケーブル：1.0m
重量：116.8g
電源：リチウム電池(CR2032)×1個
PC接続時はバスパワーによる電源供給
◆改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

電源

<ご使用前に本体裏側の絶縁シートを取り外してください>
*電源オンでも何も表示されない場合は、右記の手順で電池交換を行ってください。
*使用済みの電池は、+極と-極をテープで絶縁してから、お住まいの地域の環境法と廃棄基準に従って廃棄してください。
電池交換後は必ず本体裏面のRESETボタンを押してください。

◆本機は約7分間操作を行いませんと、むだな電源消費を防ぐために自動的に電源が切れ、表示が消えます(オートパワーオフ機能)。この場合は、[CA]キーを押せば、再び電源が入ります。

本体裏面のRESETボタン

計算中にすべてのキーの機能が働かなくなる等の異常が発生した場合は、本体裏面のRESETボタンを先端の細いもので押してください。

修理お問い合わせ専用窓口

パーソナル機器修理受付センター
(全国共通番号) 050-555-99088

[受付時間] 9:00 ~ 18:00
(日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

製品取扱い方法ご相談窓口

キヤノンお客様相談センター
(全国共通番号) 050-555-90025

[受付時間] 平日 9:00 ~ 20:00
土・日・祝日 10:00 ~ 17:00
(1月1日~1月3日は休ませていただきます)

*上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632をご利用ください。
*IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
*上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2008年5月1日現在
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

Canon

LS-100TKM
使用説明書

保証規定

1. 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間中に、万一故障した場合は、本保証書を本製品に添付のうえ、弊社または表記の販売店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理または機械交換を行います。なお、この場合の交通費、送料および諸掛かりはおお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。
 2. 保証期間中でも次の場合は有料修理となります。
 - (1) 取扱上の不注意、誤用による故障および損傷(表示画面のガラス割れ等)
 - (2) 不適切な移動・落下等による故障および損傷
 - (3) 弊社または表記の販売店以外での修理、改造による故障および損傷
 - (4) キヤノン製以外の消耗品や部品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障および障害
 - (5) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (6) 本保証書の提示がない場合
 - (7) 本保証書にお買上年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合
 - (8) 接続している他の機器に起因して故障が生じた場合
 3. お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けるため、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用しています。なお、故障状況により部品交換方式を採用させていただく場合がございますので、予めご了承ください。
 4. 消耗品類は、本保証書による保証の対象とはなりません。
 5. 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、ご了承ください。
 6. 転居、譲り受け、贈答等の場合で表記の販売店に修理を依頼できない場合は、弊社にお問合せください。
 7. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 8. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
 - * 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これにより弊社及び弊社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - * 保証期間経過後は弊社規定の修理・交換料金を申し受けます。
 - * 保証内容や修理のお問い合わせは、パーソナル機器受付センターまでお願い致します。
- © CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H. K.) CO., LTD. 2008
PUB. E-IJ-1104 ● PRINTED IN CHINA

2つのモードが選べます

本機には、通常の電卓として使用する計算モードと、テンキーとして使用するPC入力モードの2つのモードがあります。パソコンに接続していない時は、計算モードになります。USBケーブルでパソコンに接続中は、[PC計算]キーで2つのモードを切替えることができます。

計算モード

計算モードにした際には、電卓としての機能がそのまま使えます。また、計算結果をパソコンに送信することができます。

Del **小数点切替えキー**：演算結果の小数点以下の桁数を指定するキーです。指定位置は、キーを長押しして、小数点以下0, 2, 3桁, F(浮動小数点)から選択可能です。(はじめに[CA]キーを押してください)
例：小数点以下2桁指定
1[CA]234[CA]456[CA]457.23 (457.23)

CA **電源オン/クリアオールキー**：電源を入れる時に押すキーです。計算中にこのキーを押すと、計算をクリアします。

C1/C **入力訂正キー**：入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。2回続けて押すと、計算途中の内容を全てクリアできます。

%± **パーセント・プラス・マイナスキー**：パーセント計算、割増し、割引き計算を行う時に使います。

BS **バックスペースキー**：表示された数値を1桁ずつずらし最下位桁をクリアするキーです。誤って入力した時に、1桁ずつ訂正することができます。

PC関連キー

PC計算 **PC/計算モード切替えキー**：PC入力モードとして使用する場合と、通常の電卓として使用する場合を、このキーで切替えます。

送信 **送信キー**：計算結果をパソコンに送信するキーです。

計算結果の送信方法

計算結果がディスプレイ画面に表示された状態で、[送信]を押します。

- * パソコンと接続していない時は、[送信]キーは無効となります。
- * 計算結果を送信中に、キーを押しても無効となる場合があります。
- * 送信できるのは数値のみで、3桁位取りマークや、=などの計算状態表示シンボルは送信できません。
- * エラー中（Eシンボル点灯中）は送信できません。
- * データ送信中に異常が発生した場合、画面に「Error」が表示され、データが送信できなくなります。その際には[CA]キーを押せば送信中の数値が画面に表示され、[CA]キーを押せば数値がクリアされ、画面に「0」が表示されます。

PC入力モード (NumLock 非連動対応)

USBケーブルでパソコンに接続した状態で[PC計算]キーを押す、PC入力モードにします。(PC入力モード時は、ディスプレイ画面に「PC入力モード」と表示されます。)

【NumLock機能】

PC入力モードで[NumLock]を押すと、NumLockオン・オフの切替えが出来ます。NumLockオン時には液晶に「Num」が表示され、数字(0~9)やキーに対応するコード：+, -, *, /, =, (小数点), (コンマ), ESC, 決定, BS, をパソコンに送信できます。NumLockオフ時にはディスプレイ画面には「Num」は表示されず、数字キーをカーソルキーとして使用することができ、簡単にウィンドウをスクロールさせることができます。(数字キーの右端に印刷されている機能：Home, End, PgUp, PgDn, Ins, Del, ←, →, ↑, ↓を使用することができます。)
* 詳細は、右図をご参照ください。尚、PC入力モードで右図のキー以外のキーを押しても無効となります。
* NumLockオン時でも、パソコンの一部のキーがテンキーモードになることなく、アルファベット等の文字入力ができます(NumLock非連動対応)。<NumLockオン時> <NumLockオフ時>

注意

- * パソコンがスクリーンセーバーモードに入った時は、いずれかのキーを押してパソコンを通常の状態に復帰させることができます。(パソコンのスタンバイモードの解除はできません。)
- ・ 計算モード時：[送信]キーを押すと、パソコンを通常の状態に復帰させることができます。
- ・ PC入力モード時：PC入力モード時に機能するキーであれば、どのキーを押してもパソコンを通常の状態に復帰させることができます。
- * パソコンの入力設定が「かな入力」、入力モードが「ひらがな」の場合、「=」「,」「/」「ね」とかな文字で入力されます。この現象を防ぐには、入力モードを「英数モード」にしてご使用ください。
- * PC入力モード時に、USBケーブルがパソコンにしっかり接続されていないなどの問題があった場合、本体のディスプレイ画面はPC入力モードのままですが、データがパソコンに送信されません。

◆計算を始める前に、必ず[CA]キーを押してください。

計算例	操作	表示
140 - 25 + 22 = 137	[CA] 140 [CA] 25 [CA] 22 [CA]	(0.) (137.)
2 x 2 3 = 6	2 [CA] 2 [CA] 3 [CA]	(6.)
-152 x + 98 9 = -53	[CA] 152 [CA] 98 [CA] 9 [CA]	(-53.)
9 ÷ 5 x 3.2 + 7 - 1 = 11.76	9 [CA] 5 [CA] 3 [CA] 2 [CA] 7 [CA] 1 [CA]	(11.76)
(2+4) ÷ 3 x 8.1 = 16.2	2 [CA] 4 [CA] 3 [CA] 8 [CA] 1 [CA]	(16.2)

自乗・べき乗 [CA]の後続けて[CA]キーを(n-1)回押すと、n乗が得られます。
4³ = 64 4 [CA] [CA] [CA] (64.)

逆数計算 [CA]キーを続けて押せば、逆数を求められます。
1/2 = 0.5 2 [CA] [CA] (0.5)

定数計算	操作	表示
2+3=5	2 [CA] 3 [CA]	(5.)
4+3=7	4 [CA] 3 [CA]	(7.)
1-2=-1	1 [CA] 2 [CA]	(-1.)
2-2=0	2 [CA] 2 [CA]	(0.)
2x3=6	2 [CA] 3 [CA]	(6.)
2x4=8	2 [CA] 4 [CA]	(8.)
6÷3=2	6 [CA] 3 [CA]	(2.)
9÷3=3	9 [CA] 3 [CA]	(3.)

パーセント計算①
300の27%は?
300 x 27 / 100 = 81 3 [CA] [CA] [CA] 27 [CA] (81.)

計算例	操作	表示
パーセント計算② 11.2は56の何%? 11.2 / 56 x 100 = 20	11 [CA] 2 [CA] 56 [CA]	(20.)
割増し計算 1,200+(1,200 x 17.5%) = 1,410	12 [CA] [CA] [CA] 17 [CA] 5 [CA]	(1'410.)
割引き計算 1,200-(1,200 x 17.5%) = 990	12 [CA] [CA] [CA] 17 [CA] 5 [CA]	(990.)

オーバーフロー

次の場合は、オーバーフローサイン(E)を表示して、以降の置数、演算を停止します。オーバーフローは[CA]キーを押して解除してください。

(1) 演算結果の整数部が10桁を超えた場合
演算結果は上位10桁のみを表示し、下位桁はカットされます。そのとき演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数えると、カットされた下位桁の桁数を知ることができます。

計算例	操作 / 表示
1,234,567,890 x 10,000 = 12,345,678,900,000 エラー	1234567890 [CA] 10000 [CA] (^E 1'234.567890)

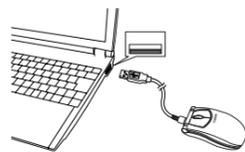
(2) 除数が0の除算を行った場合

操作	表示
200 [CA] 0 [CA]	(^E 0.)

パソコンとの接続方法

パソコンと接続して使うには、以下の手順に従ってUSBケーブルで本機とパソコンを接続します。

- 1 パソコンのUSBポートに、USBケーブルを接続します。
 - * 必ず、パソコン本体のUSBポートに接続してください。パソコン本体以外のUSBポートでは正常に動作しない場合があります。
- 2 接続後、USBドライバのインストールを行います。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。
 - * 使用するパソコン(OS)によっては、自動的にUSBドライバのインストールが行われます。
 - * 本機のキー使用中にUSBケーブルの抜き差しはしないでください。



注意

- * 接続作業は、必ず本体に電池を入れた状態で行ってください。

マウスについて

テンキーとして開いた状態でもマウス機能はお使いいただけます。計算途中でメールのチェックを行う時など、わざわざ計算機画面を閉じる手間が省けてスムーズに作業を行うことができます。

- * 光学センサーは、透明な素材(ガラスなど)や、光を反射する素材(光沢のあるビニールや鏡など)の上では正しく動作しない場合があります。また規則正しいパターンの上ではトラッキング能力が低下する場合があります。その場合は、このような素材の上を避けるか、市販の光学マウス対応マウスパッドなどをご使用ください。

動作環境

● OS

Windows® Me/2000 Professional/XP/Windows Vista™ の日本語版がプレインストールされていること

● パソコン

以下の条件を満たす IBM PC/AT 互換 (DOS/V) 機

- ① Windows® Me/2000 Professional/XP/Windows Vista™ の日本語版が動作可能で本体に USB ポートを装備しているもの
- ② 日本語キーボードを有しているもの
 - ※ その他、Windows® Me/2000 Professional/XP/Windows Vista™ が推奨する動作環境に準拠。
 - ※ 機器の構成により正常に動作しない場合があります。
 - ※ Windows® 3.1/95/NT/98/98 SE 上では動作しません。
 - ※ 他の OS (Windows® 3.1/95/NT/98/98 SE 等) から Windows® Me/2000 Professional/XP/Windows Vista™ にバージョンアップされたパソコンでの動作保証はいたしません。
- ・ Microsoft® Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ IBM PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。
- ・ その他の会社名および製品・サービス名は、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標あるいは出願中の商標である場合があります。

キーボードの入力がおかしい時には

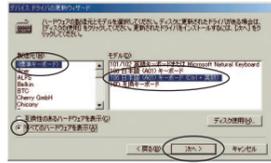
Windows Me/2000/XP/Windows Vista™ をご使用の場合、USB 接続の外部入力機器 (日本語キーボードやテンキー等) を接続すると、Windows Me/2000/XP が英語 101/102 キーボードと認識し、接続されている全てのキーボードが英語 101/102 キーボード配列で動作する場合があります。この場合デバイスマネージャに表示されるデバイスの表示とドライバの内容が一致せず、【@】を押すと【[】が入力されるといった問題が発生します。

以下の手順にて正常に復帰させることが可能です。

※ OSによってはデバイスマネージャ上のキーボードが最初から英語キーボードになっている場合がありますが、日本語入力が問題なく行える (例: @が正常に入力できる) 場合は、日本語キーボードに切り替える必要はありません。そのままご使用ください。

Windows Me の場合

- 1 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】の順に選択し、【システム】をダブルクリックします。
- 2 【デバイスマネージャ】タブを選択します。
- 3 【キーボード】アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボードの名前をダブルクリックします。



- 4 【ドライバ】タブを選択し、【ドライバの更新】ボタンをクリックします。



- 5 【ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)】ラジオボタンを選択し、【次へ】ボタンをクリックします。



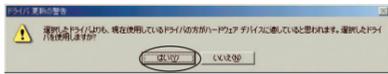
- 6 【特定の場所にあるすべてのドライバー一覧を表示し、インストールドライバを選択する】ラジオボタンを選択し、【次へ】ボタンをクリックします。



- 7 【すべてのハードウェアを表示】ラジオボタンを選択し、【製造元】から (標準キーボード) を、【モデル】から現在お使いの日本語キーボード名を選択して【次へ】ボタンをクリックします。



- 8 【ドライバ更新の警告】画面が表示されますので【はい】をクリックします。



- 9 【デバイスドライバの更新ウィザード】画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。



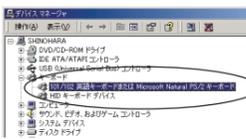
- 10 ドライバのインストール終了後、【完了】ボタンをクリックします。



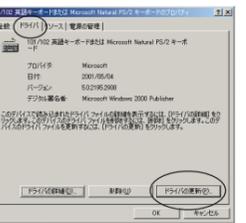
- 11 手でコンピュータを再起動します。

Windows 2000 の場合

- 1 Administrators 権限を持ったユーザーで Windows にログインします。
- 2 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】の順に選択し、【システム】をダブルクリックします。
- 3 【ハードウェア】タブを選択し、【デバイスマネージャ】ボタンをクリックします。
- 4 【キーボード】アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボードの名前をダブルクリックします。



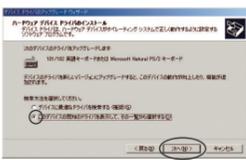
- 5 【ドライバ】タブを選択し、【ドライバの更新】ボタンをクリックします。デバイスドライバのアップグレードウィザードが表示されます。



- 6 【次へ】ボタンをクリックします。



- 7 【このデバイスの既知のドライバーを表示し、その一覧から選択する】ラジオボタンを選択して、【次へ】ボタンをクリックします。



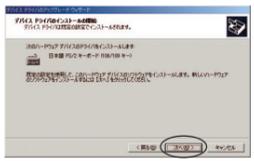
- 8 【このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示】ラジオボタンを選択し、【製造元】から (標準キーボード)、【モデル】から現在お使いの日本語キーボード名を選択して【次へ】ボタンをクリックします。



- 9 下の画面が表示されたら、【はい】をクリックします。



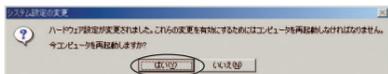
- 10 【デバイスドライバのアップグレードウィザード】画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。



- 11 下の画面で【完了】ボタンをクリックします。



- 12 下の画面で【はい】ボタンをクリックします。コンピュータ再起動後、設定が有効になります。

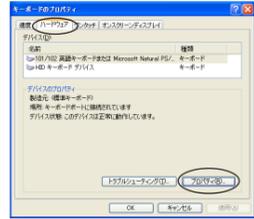


Windows XP の場合

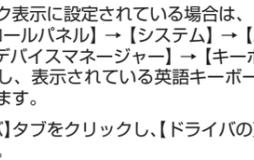
- 1 【スタート】→【コントロールパネル】→【プリンタとその他のハードウェア】の順にクリックします。



- 2 【コントロールパネルを選んで実行します】の【キーボード】をクリックします。



- 3 【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイス】に表示されている英語キーボードの名前をクリックします。次に、【プロパティ】をクリックします。



- ※ クラシック表示に設定されている場合は、【スタート】→【コントロールパネル】→【システム】→【ハードウェア】タブ→【デバイスマネージャ】→【キーボード】の順にクリックし、表示されている英語キーボードの名前をクリックします。

- 4 【ドライバ】タブをクリックし、【ドライバの更新】をクリックします。



- 5 【一覧または特定の場所からインストールする (詳細)】をクリックし、【次へ】をクリックします。



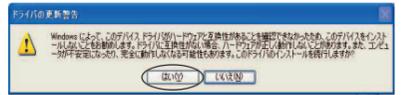
- 6 【検索しないで、インストールするドライバを選択する】をクリックし、【次へ】をクリックします。



- 7 【互換性のあるハードウェアを表示】チェックボックスをオフにします。次に、【製造元】ボックスの一覧から【標準キーボード】をクリックし、【モデル】ボックスの一覧から現在お使いの日本語キーボード名をクリックします。そして【次へ】をクリックします。



- ※ ご使用のモデルによっては、下記のメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は【はい】をクリックします。



- 8 【完了】をクリックします。



- 9 【閉じる】をクリックします。再起動する旨のメッセージが表示された場合、【はい】をクリックするとすぐにコンピュータを再起動します。



Windows Vista の場合

方法 1

- 1 【スタート】→【コンピュータ】を右クリックし、【プロパティ】をクリックします。



- 2 システムの左側に表示されるタスク一覧から【デバイスマネージャ】をクリックします。管理者パスワード、または確認のメッセージが表示されたら、【続行】をクリックします。



- 3 リストより【キーボード】の左側に表示されている【+】をクリックして展開します。



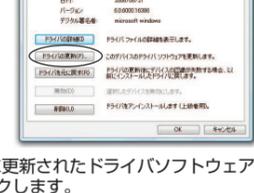
- 4 表示されたキーボードデバイス名をダブルクリックします。



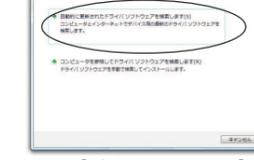
- 5 【ドライバ】タブを選択し、【ドライバの更新】ボタンをクリックします。



- 6 【自動的に更新されたドライバソフトウェアを検索します】をクリックします。



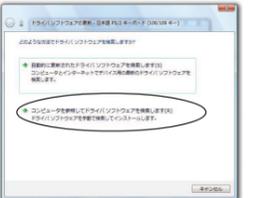
- 7 【OK】をクリックし【デバイスマネージャ】を閉じます。再起動する旨のメッセージが表示された場合、コンピュータを再起動します。



方法 2

- 1 前述の【方法 1】の手順 1~5 までを行います。

- 2 【コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します】をクリックします。

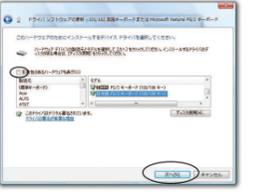


- 3 【コンピュータ上のデバイス ドライバの一覧から選択します】をクリックします。

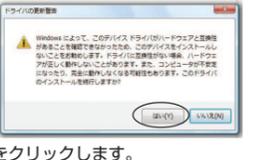


- 4 【互換性のあるハードウェアを表示】のチェックボックスをオフにします。

- 5 【モデル】ボックス内をスクロールして【日本語PS/2キーボード(106/109キー)】をクリックし、【次へ】ボタンをクリックします。



- 6 下記のメッセージが表示される場合は【はい】をクリックします。



- 7 【閉じる】をクリックします。



- 8 【OK】をクリックし【デバイスマネージャ】を閉じます。再起動する旨のメッセージが表示された場合、コンピュータを再起動します。

上記操作解決しない場合は方法 2 の操作で、日本語キーボードを指定します。